

学校法人 四国高松学園

〒761-0194 高松市春日町960番地

TEL (087)841-3255 FAX (087)841-3064

三木町と連携協力に関する協定を締結

地域連携活動



3月26日、三木町と本学との連携協力に関する協定式があり、三木町の伊藤町長と本学の佃学長が協定書にサインした。

協定式に先立ち、三木町の伊藤町長、高西副町長、森教育長と本学の佃学長、澤田高松大学副学長、出木浦高松短期大学副学長が今後の連携協力について懇談した。

この連携協力に関する協定のもと、相互の人的・知的資源の交流・活用を図りながら、個性豊かな地域社会の形成および地域課題の解決を図り、地域社会の振興と発展に寄与することをめざすこととし、先ずは「子育て支援」について連携を進めていく。

大学コンソーシアム香川の活動報告会を開催

3月29日、本学で大学コンソーシアム香川の活動報告会を開催した。大学コンソーシアム香川は、香川県内の大学、短期大学、高等専門学校が相互に連携・交流し、県内の教育の質的向上を推進するとともに、地域社会の発展に寄与することを目的として、2015年に設立したもので、このたび、大学コンソーシアム香川の活動を広く知っていただく機会として、初めて活動報告会を開催することとなった。

県内の大学等から19人が出席し、大学コンソーシアム香川の紹介、2019年度から2023年度までの中長期計画、2019年度活動報告・評価と2020年度活動報告について事務局より説明があり、最後に大学コンソーシアム香川の会長（佃学長）より謝辞が述べられた。



令和3年度入学式挙行政



4月2日、令和3年度入学式を体育館で挙行政した。昨年と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、出席者を入学生と職員に限定し、規模を縮小して実施した。

佃学長は、「建学の精神を自らの学びの指針として、「地域で活躍できる人材」となることをめざし、地域に学び、地域を愛し、地域で信頼される人間となるよう、今後の学生生活を充実させ、自己実現を図っていたいただきたい」と新入生を激励した。

新入生を代表して、笠井月音さん（発達科学部1年）と汐崎月陽さん（秘書科1年）が宣誓。笠井さんは、「先生方や仲間との対話に励みつつ、ゼミナールやボランティアなど様々な活動に積極的に参加していきたい」、汐崎さんは「さらに高く、大きな目標を定め、前向きに挑戦していきたい」と決意を述べた。

2021 オープンキャンパス

6月19日(土) 7月17日(土) 8月21日(土) 9月18日(土) 10月16日(土)

※無料送迎バス(要予約)

※新型コロナウイルス感染拡大状況などにより、中止またはプログラムを変更する場合があります。詳細については、本学ホームページをご確認ください。



お問い合わせ先 入学センター ☎0120-78-5920

新入生の抱負

新入生の方に将来の抱負を語っていただきました。めざす未来へ向かって1歩ずつ。新入生のみなさん、本学へようこそ。

高松大学 発達科学部

◆実践力を備えた 保育者をめざして



発達科学部子ども発達学科1年 笠井 月音
私は、4年 後に教職員の皆様や家族に

保育者として成長した姿を見ていただけるようになりたいです。子どもたちが登園して楽しいと感じ、保護者もしっかりサポートできる保育者になりたいと考えています。そのため、保育者に必要な専門的な勉強はもちろんのこと、保育実習やげんき村の活動にも力を注いでいくつもりです。保育実習では、先生方が子どもたちと、どのように接して指導しているのかをしっかりと見て体験し、実践力を備えていきたいです。げんき村の活動では、地域や保護者の方々との触れ合いやつながりを大切にして取り組みたいです。それにより、子どもたちだけでなく、地域や保護

高松大学 経営学部

◆充実した学生生活を



経営学部経営学科1年 長友 敬祐
私は、大学生活を過ごして、様々な行事を通して、学友達とともに笑い励ましあう、刺激に満ちた日々を過ごしたいと思っています。

者の方々との関わり方も幅広く身につけていきたいです。これから4年間、仲間や先生との対話を大切にして信頼関係を築き、充実した学生生活を送りたいと思います。

高松短期大学 保育学科

◆保育者への新たな一歩



保育学科1年 吉田 一花
私には夢があります。それは、大好きだった保育園

して経験を積み、充実した学生生活を過ごしていきたいです。

高松短期大学 秘書科

◆医療事務員をめざして



秘書科1年 汐崎 月陽
私の目標は、これからまる2年間の学生生活において、社会人として必要なビジネスマナーや医療事務の専門知識を身につけることです。

子どもの感性を育て可能性を広げられる保育者になりたいです。



きるようになるようにしたいです。将来は、医療事務員をめざしており、その際には、本学で学んだ

探訪/研究室

◆自己紹介



経営学部 岡田 龍哉
高松に来て5年目に入りました。もともと多くの人が会計学を楽しめばいいのと思っています。

ことを十分に生かせるよう、様々なことに挑戦していきたいです。

●ゼミナールの特徴

学生主体のゼミだと思っています。私はお手伝いする程度で、学生が自主的に学び、楽しむことを尊重するゼミです。

●ゼミ生へ一言

何でも楽しめるいいのではないのでしょうか。難しいことでも、楽しもうと思えば取り組めば本当に楽しくなります。

●二十歳の時の自分

一日中ギターを弾き、徹夜で麻雀を打つ毎日でした。その後、に会計学と出会えなければと考えると怖くなりますが、今もギターを弾けて麻雀を打てる自分の方が良かったと思っています。

令和2年度
満足度アンケート結果報告

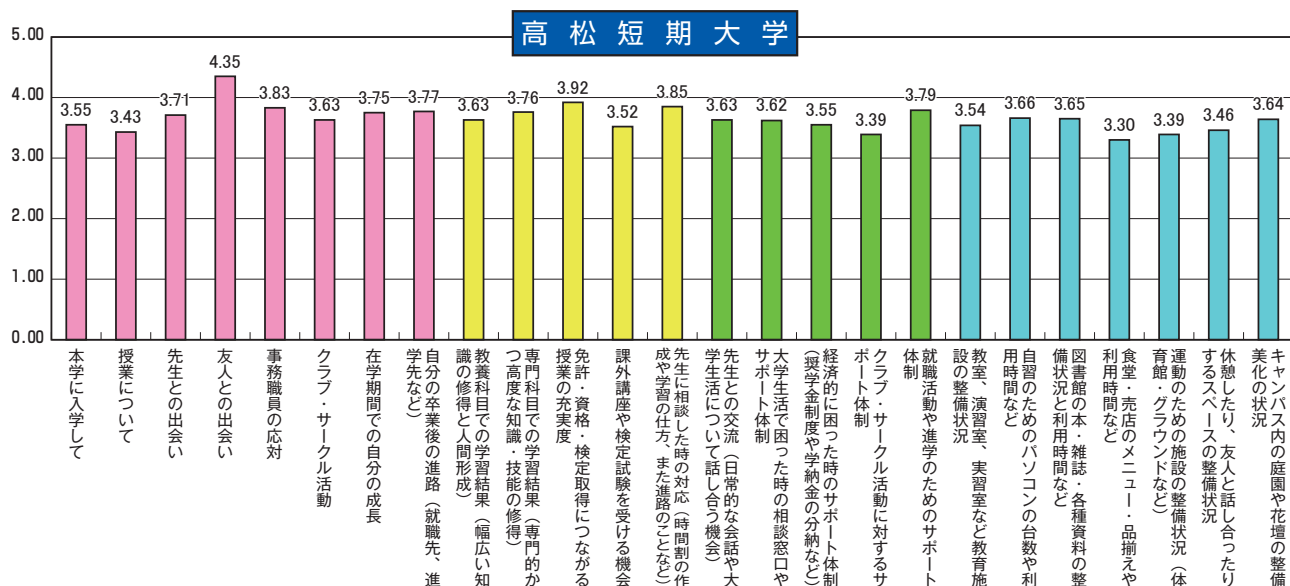
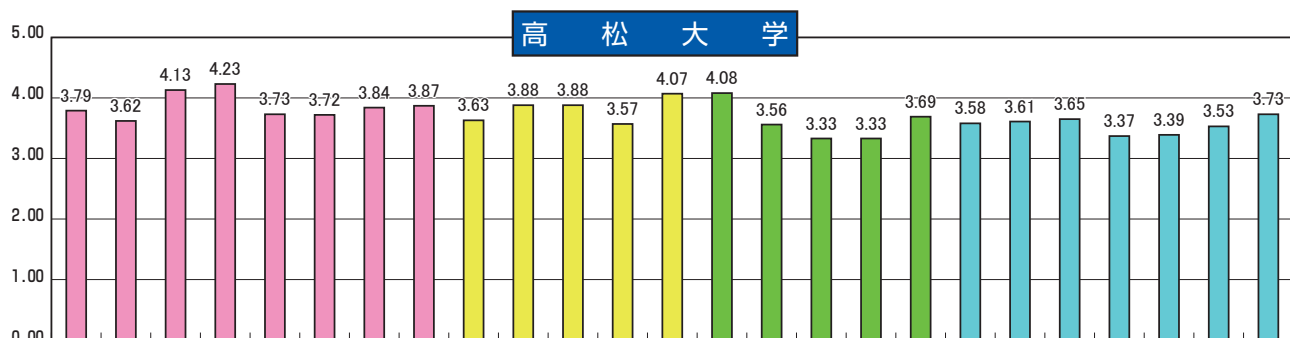
学生の在学期間内の満足度を調査することにより、教育支援と施設整備の整備ができていくかを把握し、今後の教育改善に役立てることを目的に、毎年度卒業予定者を対象に満足度アンケートを実施している。

大学・短大ともに「友人との出会い」が一番高い評価となっている。大学では「先生との出会い」など教員に関する項目の評価が高く、短大では「免許・資格・検定取得につながる授業の充実度」などが高い。

記述では、「先生が親身になってくれる」、「自分のことをわかってくれる、認めてくれる大切な仲間に出会えた」、「同じ夢を持つ友達に会えて励まし合えた」、「やりたいことに打ち込めた」、「夢を叶えることができた」などの良い意見に対し、大学に対する要望も記されていた。
こういった意見・要望を踏まえ、改善策を検討し、学生のための大学づくりにより一層力を入れていく。

満足度アンケート結果

全体 教育 学生生活 施設設備



【評価方法の説明】

- アンケートの回答方法は、「全く満足でない」、「あまり満足でない」、「どちらともいえない」、「かなり満足」、「非常に満足」の5段階で、評価値は1～5とした。
- 集計方法は、5段階評価値を平均し、その項目の評価値とした。

編集後記

☆本学では、新型コロナウイルス感染症への対応として、「新型コロナウイルス感染症に関する対応指針」、「新型コロナウイルス禍での大学生活について」を定め、ホームページに掲載しております。
新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止のため、本学ホームページにて最新情報をご確認いただき、引き続き、感染対策にご協力をお願いいたします。
(N)

保育学科助教 森本 将行
① 学校教育学(子ども文化、保育実習指導Ⅰ・Ⅱ、保育基礎演習Ⅰ・Ⅱ、保育・教職実践演習、子育て支援など)
② 出身は奈良県ですが、大阪府と兵庫県の保育現場で15年間働いていました。趣味は体を動かすことです。

保育学科教授 辻野 栄一
① 美術(子どもと造形表現Ⅱ、芸術文化、造形表現Ⅰ等)
② 坂出身出身。教員とは別のライフワークとして、彫刻や焼絵を制作・発表しています。

新任教員のプロフィール
① 専門分野(授業科目)
② 自己紹介